

# 事業計画書 損益予算書

令和元年度  
(第10期)

自 平成31年4月 1日  
至 令和 2年3月31日

一般社団法人日本流行色協会

101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-2-31 ヒューリック神保町ビル 6F  
TEL. 03-5275-1016 FAX. 03-5275-1017

## 令和元年度事業計画

日本流行色協会は、「Color Makes Value」を掲げ、新たな価値を生み出すための色彩活用に関するトレンド提案、教育、メンバーとの共同調査、研究、イベント等を行っております。社会や経済、産業構造が大きく変化する今、異なる分野との共創が盛んに行われるようになりました。これまでも日本流行色協会は、色彩活用を軸に異なる分野のメンバーとともに活動してまいりましたが、今年度はさらに、メンバーが集まり、デザインを考える場づくりに力を入れていく所存です。

単にモノを作って売る時代から、そのモノが人の時間をどのように演出するか、人の気持ちをどう動かすかが問われる時代になりました。人の情動に大きな影響を与える色彩が、今後、ますますデザインにおいて大きな鍵を握るようになります。今後も是非、日本流行色協会の活動にご参加いただき、メンバーの皆さまと共に新しい価値を生み出すことができれば幸いです。

そこで、JAFCA は次の 3 点を目標に設定し活動していきたいと考えております。

- (1) 時代の潮流と消費者のライフスタイルの変化及びデザインの潮流を分析、発信
- (2) 先行き市場に影響力を持つ色彩と、活用方法を提案する
- (3) 色彩を軸に異業種の会員が集まり、新たな市場に向けた色彩活用を導き出す  
上記を目標に、情報作成、イベント実施、研究会、ワークショップ、教育を行う。

令和元年度事業計画に於ける重点項目

1. 会員が活用しやすい色彩情報の発信、会員の色彩活用のサポート
2. 会員個別のコンサルティング、色彩教育、セミナー企画、実施
3. 会員同士が交流、新たな価値を生み出すためのイベント実施

## 令和元年度事業計画の概要

### 1. カラートレンド情報事業

#### 重点ポイント：

- ◎ より、会員に分かりやすく深い内容のトレンドカラー情報の発信
- ◎ 異業種間のカラーデザイン戦略に関わる情報交換
- ◎ 会員間のコラボレーションによるビジネスチャンスの創出のための「場」を作る
- ◎ 新メンバー募集に向けた広報活動の検討

#### (1) 部会運営

- プロダクト・インテリア部会、レディスウェア部会、メンズウェア部会がそれぞれ、或いは異なる部会で共通の目的による活動を行う。
  - ・研究会の運営、セミナー開催によって部会横断的な活動を行う。
- JAFCAカラー活用方法を解説するセミナーの実施。

#### (2) 委員会・分科会・研究会運営

- インターカラー日本委員会 インターカラー日本の提案力・発信力の向上。  
インターカラー国際会議の日本開催（2020年秋）に向けた企画・準備。
- 化粧品分科会、自動車色彩分科会、異業種意見交換会等、メンバー参加型のワークショップの内容検討。
- U.Ge カラーデザイン研究会（旧：高齢者を元気にする研究会）
  - ・科学的な根拠に基づいた JAFCA 発のエビデンス作成にむけ調査内容の検討と、施設見学等のワークショップ実施。
  - ・新たにメンバーを募集し、活動を拡充する。

#### (3) 情報発信

- 媒体ごとの提供情報の整理および内容の充実。
  - ・カラーパレット情報と季刊誌流行色やホームページとの連動を図る。
  - ・ホームページのコンテンツ充実。
- JAFCA 会員に向けて、シーズン直前にインターカラー情報を開示する。
- ホームページのリニューアルに向け、JAFCA 会員メリットは何かを調査、内容を見直す

### 2. 出版事業

#### 重点ポイント：

- ◎より会員にメリットのある『流行色』誌を目指し、リニューアルに向けた内容検討
- ◎ JAFCA が持つコンテンツを有効活用し、新たな出版事業を検討する。
  - 季刊「流行色」誌の新規購読者募集に向けた内容の再検討編集体制強化。
    - ・編集体制の強化、外部執筆陣との連携によるコンテンツの充実。
    - ・ホームページのリニューアルに合わせた情報発信方法の変更検討。
  - JAFCA が持つコンテンツによる出版検討、実現に向けて具体的に計画する
    - ・色彩ベーシックコーステキスト作成、計画、執筆、一般販売を目指す。

### 3. 研修会事業

#### 重点ポイント：

- ◎会員にとって有効なトレンドカラーを伝えるセミナー
- ◎出版事業と連動させた研修会の企画、関係諸団体との協業によるセミナーを開催
- ◎先行開発から販売まで、各ターゲットに合わせた講座・セミナーを企画・開催する。

#### (1) 内容が分かりやすい名称に変更：

- ・カラーデザインセミナー：先行市場に向けて開発を行う会員に有用な情報を発信するために、名称をカラートレンドセミナーからカラーデザインセミナーに変更
- ・カラートレンド分析セミナー：実市場で使いやすいカラーを解説
- ・色彩講座ベーシックコース：色彩活用のための基礎知識 年2回 東京開催。
- ・センサリーデザインセミナー：CMFデザインを含む感覚に訴えるデザインについて伝えるセミナーや見学会、勉強会を開催。
- ・JAFCA セミナー：その年に注目されるテーマに関するワークショップを実施。
- ・「U.Ge カラーデザイン研究会」の成果をセミナーで、一般に発表。
- ・専門委員等と連携した講座の企画検討。

### 4. イベント事業

#### (1) オートカラーアワード

- ・これまでの活動を継続するとともに、今後の業界を担っていく学生の参加を拡充する。
- ・広報・PRの一部を外部へ委託し、媒体への露出を企画し認知度を上げる。

### 5. 指導監修事業

#### 重点ポイント；

◎会員個別の問題を解決するために、外部ブレーンとのネットワークを強化、コンサルティング分野の領域拡大を図る。

#### ○JAFCAコンサルティング対応分野

##### (1) 色彩基礎知識

- ・企業などのセミナー、ワークショップ企画や講師派遣など。

##### (2) 色彩情報の収集、整理、分析

- ・商品の色彩管理、市場動向分析など。

##### (3) 創造力増強プログラム

- ・カラーデザイン発想強化プログラムなど。

##### (4) 色彩の市場戦略

- ・ディレクションカラー選定、カラー戦略立案など。

##### (5) 意匠開発

- ・コンセプト設計、意匠表現、プロトタイプ制作等のプロデュース。

#### ○大学、専門学校等への出講・講師派遣

- ・学生向けにカラーの重要性、カラートレンドの意義等について啓蒙活動。

○共催セミナー、他団体へ講師派遣

## 6. 海外トレンド情報収集活動

- (1) ミラノサローネ、インターカラー等、デザインやカラーに関する国際イベントへの参加・視察。
  - ・インターカラー（国際流行色委員会）：日本代表として年2回参加
  - ・ミラノサローネ：4月外部旅行会社とのコラボレーションによる見学ツアーを実施。その後詳細セミナーを開催。
- (2) 海外展示会やコレクションの取材を外部へ依頼、季刊誌「流行色」、セミナーで報告。

## 7. 関連機関との連携

- (1) 東京商工会議所との連携
  - ・カラーコーディネーター検定に関する協力等。
- (2) 各自治体との連携拡充
  - ・カラーデザイン戦略による商品力向上などの重要性の提言。
  - ・地域産業の振興のためのトレンドカラーの重要性の提言。

## 8. 広報活動

- 11月16日（いい色の日）に「今年の色・来年の色」を発表。
  - ・「今年の色」を広く一般から募集することで、生活者を巻き込んだ形へ移行。
  - ・専門委員、他団体との連携の継続と強化。
  - ・「今年の色」を活用した商品企画等、企業とのコラボレーションによる商品開発の検討。
- カラートrend情報の露出による一般への認知度向上を図る。
- ホームページ、SNS、webのプレスリリースサービスを利用した広報活動の強化。

## 9. 会員増強活動

- 法人会員に向けて、常任理事会・理事会が会員数の増加に対する提案・促進の責任を担う体制の強化。
- 欲しい情報を欲しい人に届けるためのPRツールを作成する
- JAFCA会員のメリットとなるサービス内容の充実。

平成31年度 第10期 自 平成31年4月 1日  
至 令和 2年3月31日

**平成31年度損益ベース予算書**(令和元年度)

(単位：円)

科 目	①平成31年度予算額	②平成30年度予算額	増減額①-②	平成30年度決算額
<b>I. 収益の部</b>				
会費収入	43,510,000	45,250,000	▲ 1,740,000	43,000,000
インターカラー日本委員会会費	6,300,000	6,370,000	▲ 70,000	6,300,000
化粧品分科会費	2,640,000	3,360,000	▲ 720,000	2,640,000
自動車色彩分科会会費	1,620,000	1,560,000	60,000	1,620,000
新規研究会会費 (高齢者を元気にするカラーデザイン研究会)	1,200,000	1,440,000	▲ 240,000	1,200,000
オートカラーアワード事業収入	9,150,000	8,250,000	900,000	9,143,040
研修会事業収入 (セミナー事業)	7,000,000	8,130,000	▲ 1,130,000	7,001,274
指導監修事業収入 (コンサルティング事業)	12,700,000	10,000,000	2,700,000	11,609,988
出版収入	120,000	80,000	40,000	159,016
購読料収入 (「流行色」購読料)	10,400,000	9,800,000	600,000	10,221,643
広告料収入	360,000	600,000	▲ 240,000	356,400
60周年事業収入	10,000	220,000	▲ 210,000	326,460
雑収入 (その他の事業収入・受取利息含む)	140,000	160,000	▲ 20,000	161,503
当期収益合計	95,150,000	95,220,000	▲ 70,000	93,739,324
前期繰越利益剰余金	7,879,668	5,710,493	2,169,175	5,710,493
合計	103,029,668	100,930,493	2,099,175	99,449,817

(単位：円)

科 目	①平成31年度予算額	②平成30年度予算額	増減額①－②	平成30年度決算額
<b>Ⅱ. 費用の部</b>				
<b>1. 事業費</b>				
インターカラー日本委員会事業費	5,080,000	4,600,000	480,000	4,878,552
化粧品分科会事業費	2,380,000	2,450,000	▲ 70,000	2,557,379
自動車色彩分科会事業費	800,000	700,000	100,000	730,216
新規研究会事業費 (高齢者を元気にするカラーデザイン研究会)	400,000	400,000	0	68,949
オートカラーアワード事業費	7,900,000	6,500,000	1,400,000	6,811,005
研修会事業費 (セミナー事業)	2,490,000	2,970,000	▲ 480,000	2,910,064
指導監修事業費 (コンサルティング事業)	2,380,000	3,000,000	▲ 620,000	2,872,970
出版事業費	20,000	20,000	0	0
季刊誌 製作費 (「流行色」購読料)	11,300,000	8,650,000	2,650,000	8,426,656
広告制作費	10,000	10,000	0	0
トレンドカラーサンプル製作費	5,900,000	5,410,000	490,000	5,486,418
広報普及費	2,040,000	2,010,000	30,000	2,079,859
調査研究費	260,000	260,000	0	288,690
60周年事業費	10,000	210,000	▲ 200,000	284,544
事業費 計	40,970,000	37,190,000	3,780,000	37,395,302

(単位：円)

科 目	①平成31年度予算額	②平成30年度予算額	増減額①－②	平成30年度決算額
<b>2. 管理費</b>				
人件費	31,900,000	33,640,000	▲ 1,740,000	31,655,592
福利厚生費 (法定福利費を含む)	5,100,000	5,100,000	0	4,634,196
退職給付費用	1,800,000	1,800,000	0	1,112,897
支払報酬	350,000	350,000	0	345,600
諸 会 費	290,000	290,000	0	290,000
支払手数料	290,000	290,000	0	234,726
事務所賃借料	10,130,000	9,800,000	330,000	9,786,688
会 議 費	900,000	900,000	0	817,825
事 務 費	3,930,000	3,600,000	330,000	3,421,536
修 繕 費	30,000	30,000	0	3,888
渉 外 費	40,000	40,000	0	83,817
租税公課	1,370,000	1,370,000	0	1,394,650
減価償却費	670,000	670,000	0	323,432
雑 費	10,000	10,000	0	0
法人税等	70,000	70,000	0	70,000
管理費 計	56,880,000	57,960,000	▲ 1,080,000	54,174,847
3. 予備費	0	0	0	0
当期費用合計	97,850,000	95,150,000	2,700,000	91,570,149
当期損益	▲ 2,700,000	70,000	▲ 2,770,000	2,169,175
次期繰越剰余金	5,179,668	5,780,493	▲ 600,825	7,879,668